

徳島大学は本学を支えてくださる多くの学生、保護者、同窓生、地域の皆様に透明性の高い財務情報を提供し、大学の財政状態及び運営状況についてご理解いただけるように努めることが重要な責務の一つと考えております。

平成16年4月、本学は他の全ての国立大学と同様法人化し、国から独立した経営体としての運営を行うこととなり、本年度（平成21年度）は独法化後6年が経過いたしました。

この財務レポートは6月30日付で文部科学大臣より承認された平成21事業年度財務諸表をもとに、現在の財務状況をできるだけ分かりやすくお伝えすることを目的に作成しました。

平成21事業年度の徳島大学は、利益を計上していますが、病院収入その他の業務収入の増加、業務

の効率的な実施による経費の削減など、経営努力による利益のほか、国立大学法人における固有の会計処理による非資金的項目も含まれております。本学の経営努力によって生じた利益については、中期計画を踏まえながら効率的な活用を図っていくこととなります。

一方で、徳島大学の財政基盤の多くは運営費交付金等の国からの補助で支えられていますが、法人化翌年の平成17年度から1%の効率化係数や2%の経営改善係数がかかり、本学の場合、約3.5億円が毎年減額され続けています。このことは第一期中計画期間（平成16年度～平成21年度の6年間）中の財政基盤が毎年苦しくなることを意味しています。

このような厳しい財政状況であります。豊かな緑、澄みきった水、爽やかな風、温暖な気候に恵まれた徳島の地にあつて、「地域に生き、世界に羽ばたく徳島大学」として、教育・研究・社会貢献及び診療の各分野にわたり、その充実を図るとともに不断の見直し・改善を進めてまいりました。

損益計算書の要旨

損益計算書は、事業年度内に本学が実施した事業等により発生したすべての費用と収益を記載することにより、その運営状況を明らかにしています。

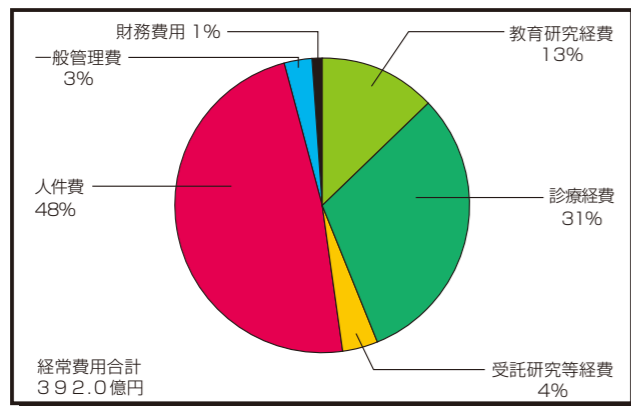
(単位：億円)

経常費用			
	20年度	21年度	増減
業務費用	347.6	373.1	25.5
教育経費	19.4	22.6	3.2
研究経費	19.3	23.3	4.0
診療経費	105.3	120.4	15.1
教育研究支援経費	3.0	3.2	0.2
受託研究等経費	11.4	14.7	3.3
人件費	188.9	188.5	▲0.4
一般管理費	11.0	13.7	2.7
財務費用	5.3	5.2	▲0.1
雑損	0.0	0.0	0.0
経常費用合計	364.1	392.0	27.9
臨時損失			
	20年度	21年度	増減
固定資産除却損	0.3	0.1	▲0.2

当期総利益			
	20年度	21年度	増減
当期総利益	17.7	23.8	6.1

注) 単位未満を切り捨てているため、必ずしも計は一致しません。

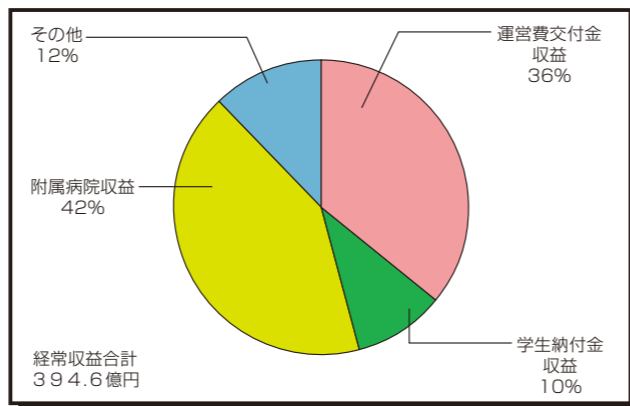
経常費用構成(21年度)



【経常費用の概略】

- ・人件費が全体の半分以上を占めていますが、定員削減等により、0.4億円減少しています。
- ・次に多い診療経費は診療報酬獲得のために要する経費で、附属病院収益の増加に伴い15.1億円増加しています。
- ・受託研究等経費は、受託研究等の受入が増加したため3.3億円増加しています。
- ・21年度は施設整備費補助金、設備整備費補助金といった補助金の交付や目的積立金による設備・機器整備などにより経常費用が27.9億円の増となっています。

経常収益構成(21年度)



【経常収益の概略】

- ・収益は、附属病院収益と運営費交付金収益で全体の約8割を占めています。運営費交付金収益は毎年減少しており、21年度は2.3億円減少しています。
- ・学生納付金収益が4.7億円減少していますが、授業料収入を財源として固定資産の取得を進めたため、収入額の減少によるものではありません。

貸借対照表の要旨

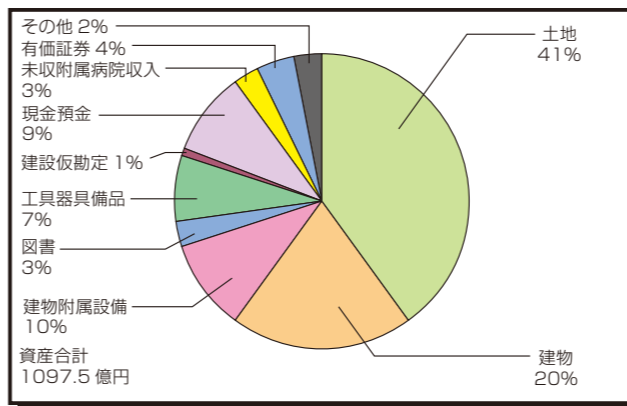
貸借対照表は、決算日における本学の全ての資産、負債及び純資産を記載することによりその財政状態を明らかにすることを目的としています。

(単位：億円)

資産の部			
	20年度	21年度	増減
土地	448.6	448.6	0.0
建物	179.0	219.4	40.4
建物附属設備	80.6	111.5	30.9
図書	29.0	28.9	▲0.1
工具器具備品	49.5	76.1	26.6
建設仮勘定	52.2	8.4	▲43.8
現金預金	97.0	100.0	3.0
未収附属病院収入	27.9	29.8	1.9
有価証券	69.0	46.0	▲23.0
その他	19.6	28.2	8.6
資産合計	1,052.9	1,097.5	44.6

注) 単位未満を切り捨てているため、必ずしも計は一致しません。

資産構成(21年度)



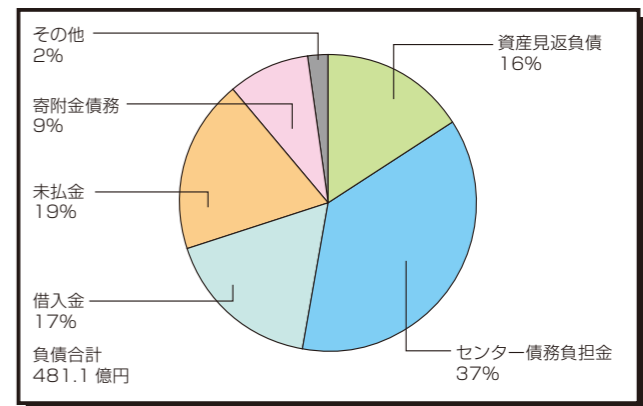
【資産構成】

- ・土地が全体の約4割を占めています。
- ・21年度は附属病院の西病棟が完成したこと、また、施設整備費、目的積立金などを財源として、総合科学部1号館等の改修を行ったため、建物及び建物附属設備が約71億円の増となっています。
- ・施設整備費、設備整備費、目的積立金などを財源として、機器の整備・更新等を進めたため、工具、器具及び備品が約26億円の増となっています。
- ・建設仮勘定の43.8億円減は、主として西病棟の完成に伴うものです。
- ・有価証券の減は主として譲渡性預金の満期解約によるものです。

負債の部			
	20年度	21年度	増減
資産見返負債	61.1	76.1	15.0
センター債務負担金	199.9	180.0	▲19.9
借入金	68.8	82.0	13.2
未払金	73.4	92.6	19.2
運営費交付金債務	9.2	0.0	▲9.2
寄附金債務	42.5	42.1	▲0.4
その他	7.8	8.1	0.3
負債の部合計	463.0	481.1	18.1

純資産の部			
	20年度	21年度	増減
資本金	467.4	467.4	0.0
資本剰余金	58.9	98.7	39.8
利益剰余金	63.4	50.1	▲13.3
純資産の部合計	589.8	616.3	26.5
負債及び純資産合計	1,052.9	1,097.5	44.6

負債構成(21年度)



【負債構成】

- ・センター債務負担金及び借入金が全体の約5割を占めています。
 - ・センター債務負担金の返済が順調に進んでいる一方で附属病院施設整備(西病棟新築)のため、新たな借入を行っており、借入金は前年度比約13億円の増となっています。
 - ・負債構成比率(※参照)は前年度同様33%となっており依然として高い水準となっています。
- ※負債構成比率(財務の健全性・安全性を示す指標の一つ) = (センター債務負担金 + 借入金 + 未払金 + その他負債) / 負債及び純資産合計

ヘルスケア health care
無意識の住人 - 大文字の他者 -

学生・職員相談室
専任カウンセラー
赤坂 和哉 あかさか かずや

■自分のしたいことって？

「自分のしたいことがわからない」という訴えをこれまで臨床心理士として働いてきてよく耳にしました。こうしたことを訴えてくる人の中には、自分の好きな物がよくわからなかったり、ある人のことを好きなかどうか判断できなかったり、人生における重要な決定を自分でできないと感じていたりする人々がままいます。とにかく漠然と「何かもうまく行かない」と感じている場合もあります。

■大文字の他者の欲望

こういう人たちの多くは、たいてい大文字の他者の欲望にしがっています。大文字の他者(Autre)というのは、フランス人のラカンという精神分析家が考えた概念で、単純には、自分の中の親の心的なイメージです。もう少し正確を期して言えば、それは自分の周りで話す人々の言葉から作られた一つの無意識的な概念ということになるでしょう。この大文字の他者の望むことが私たちのしたいことを形作るとラカンは考え、「人間の欲望は大文字の他者の欲望である」と言いました。



■親の欲望を欲望する子ども

「人間の欲望は大文字の他者の欲望である」ことを端的に示しているのが「よい子」です。よい子とはたいてい親の言うことを聞く子を意味します。親から見ると好ましいものとなるため、あるいは親から認められるために、「よい子」は小さい頃から親の言いつけを守り、勉強してよい成績を残し、進学・就職します。進学や就職という結果だけを見ると、もちろんこれは悪いことではありません。しかし、自分のためだけでなく、親が望むような子どもであるために、そうした結果を求めることが少々まずいのです。親の欲望にしたがったまましていると、思春期にはたいてい反抗期は見られません。そして青年期になると、自分の好きなものがわからなかったりし、成人期には、自分の仕事や将来のパートナーを選ぶ際に困難が伴います。



学生・職員相談室利用案内
ご利用は、直接来室されるか、電話またはメールでお申し込みください。
TEL：088-656-7637
E-mail：gkseisod@jim.tokushima-u.ac.jp
●常三島キャンパス（共通教育5号館1階西側）
利用時間：月～金 9：30～17：30
●蔵本キャンパス（蔵本会館2階）
利用時間：火 13：30～17：30
*事前に予約をすれば火曜日午後以外も相談可能です。

■自分の欲望を見つけよう

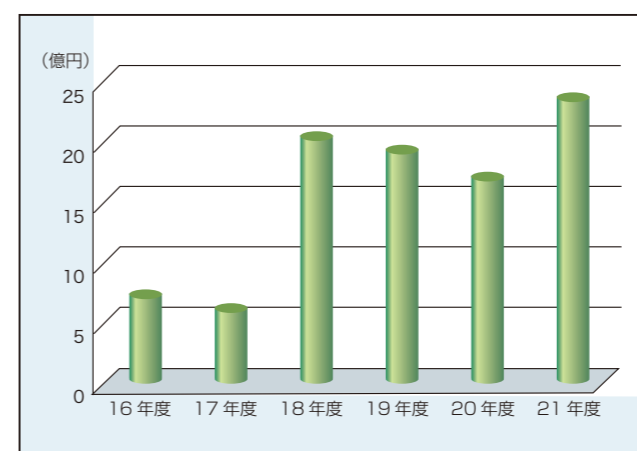
そのような人々は、洋の東西を問わず、心の専門家のもとを訪れてきました。そして自分自身を振り返り、欲望の問題を解決するのです。この機会に、自分を振り返ってみようと思った人は、気軽に学生・職員相談室においでください。



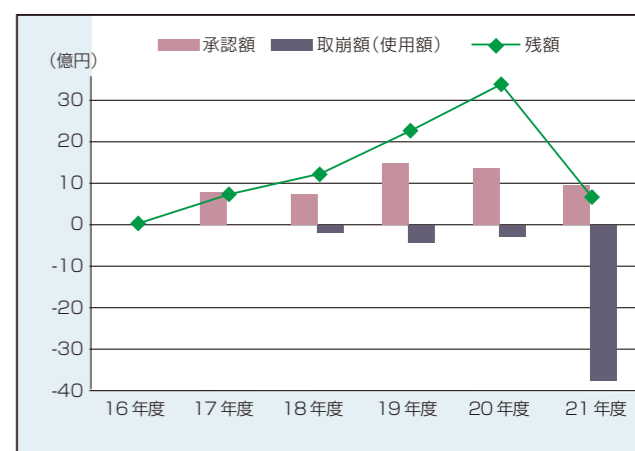
health care

国立大学法人徳島大学 財務レポート

当期総利益



目的積立金



注)目的積立金取崩額(使用額)は目的積立金の減として負の表示としています。

【目的積立金の概略】

国立大学法人は、利益の獲得を目的とはしておらず、補助金(運営費交付金)を受けて事業を実施する法人であるため、損益均衡の原理が会計制度の基本となっています。しかし、経費の節減、自己収入の増加など経営努力を行った際には利益が生じることになります。当期総利益のうち文部科学大臣の承認を受けた額については目的積立金として積み立てられ、翌事業年度へ

の繰り越し及び使用が可能となります。平成21年度は総利益23.8億円を計上していますが、予算を計画的に執行した結果、目的積立金として申請するものではありません。これまでの目的積立金の残額については、第2期中期目標・中期計画期間に計画的に執行するものとして、繰越を行っています。

主な施設の整備



医学部・歯学部附属病院 西病棟
平成21年8月完成



医学部保健学系総合研究棟改修
平成21年12月完成



常三島地区 シンボリストリート(東側)
平成22年3月完成

【主な施設の整備状況】

蔵本地区では平成19年度から工事が進められてきた附属病院西病棟が平成21年8月に完成しました。11階建て381床の西病棟の完成により、徳島大学病院は地域医療の最後の砦として、徳島県民にますます頼られる存在になるものと思われま。また、保健学系総合研究棟の改修や動物実験施設の改修など、教育研究面においても施設整備が進められました。

常三島地区では総合科学部1号館の南棟の改修を行いました。平成22年度は引き続き北棟の改修を進めていきます。また、60周年記念事業の一環として整備したシンボリストリートや助任の丘、総合グラウンドの部室改修など、教育研究面だけでなく学生のキャンパスライフの向上につながる施設整備が進められました。

The University of Tokushima financial report

【ポイント】
平成21事業年度は第1期中期目標・中期計画(平成16事業年度～平成21事業年度)の最終年度にあたります。本事業年度の徳島大学は、目的積立金を中期目標で定めた使途に充て、有効的、計画的に執行した結果、教育研究診療環境の充実が図られ、資産の大幅な増加となりました。しかし、本学を取り巻く環境は厳しく、財政基盤は多くの運営費交付金等の国からの補助で支えられておりますが、毎年減額されている状況です。今後とも安定した経営を行うため自己収入の増加に努めると共に、競争的資金の獲得に努めて参りたいと考えております。
平成22事業年度から第2期中期目標・中期計画期間(平成22事業年度～平成27事業年度)のスタートとなりますが、ますます厳しい財政状況であることには変わりはありません。「地域に生き、世界に羽ばたく徳島大学」として、教育・研究・社会貢献及び診療の各分野にわたり、その充実を図るとともに不断の見直し・改善を進めて参りますので、今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。